

# H ます



江戸時代に江戸ます座(※)で作られたものと推定される「文久ます」(写真)の他にも、慶応4年～明治8年(1868～1873)に明治新政府がます座手樽屋に制作させた「鎮台ます」等様々な時代のますを展示しています。

写真文久ますの中に入っている棒は「斗概(とかき)」と呼ばれ、ますに入れた

穀物を平らにならす際に使っていました。

体験コーナーでは一升瓶と一升ますを使って、本当に同じ容量なのか実験してみることが出来ます。

※ます座とは・・・江戸時代、地域によって大きさが違ったますを統一するため幕府が江戸と京都に設置したますの製造・販売所。